



## 年頭のご挨拶

代表取締役社長  
高橋 朋道



皆様、明けましておめでとうございます。

お取引先の皆様におかれましては平素より弊社製品をご愛顧賜り、心から厚く御礼申し上げます。2025年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、円安を背景にした原料、2024年問題による物流費、そして諸物価などの値上がりから大きな影響を受け、昨年5月に製品値上げを発表しました。お取引先の皆様のご理解とご協力を賜り、お陰様で値上げすることができました事、深く感謝いたします。

さて、今般、海洋プラスチックごみ問題を発端に世界で法的拘束力のある国際文書（条約）策定のための政府間交渉委員会（INC）が開催され、化学品・プラスチックなどの使用制限が議論されています。プラスチックは私たちの生活の中で必要不可欠な素材です。しかしながら世界の見る目は厳しくなっています。それに対応するためには環境対応製品の展開・拡大が必須です。

昨年バイオ OPS 製品の販売を開始し、今年はバイオ PSP、バイオ PP の販売ができる体制を整えました。また、デンカグループのポリスチレンメーカーである東洋スチレンが進めるスチレンケミカルリサイクルの実証プラントが昨年完成し、本格稼働に向けて準備を進めています。ケミカルリサイクル製品は安全性が高く、バージン原料と同等の性能を得られます。そしてどちらもマスバランス方式により ISCC PLUS 認証の「サステナビリティ宣言書（SD：Sustainability Declaration）」を発行することができます。これらバイオ製品とケミカルリサイクル製品の2本立てで環境対応製品を食品容器市場に訴求して参ります。

一方、当社の強みである嵌合技術を更に磨き、お客様に貢献したいと考えております。当社の内嵌合製品は液漏れのしにくさで市場から高い評価を得ています。“漏れなくあなたに”をキャッチフレーズに嵌合フードの「ベネパックOPBシリーズ」や、「E井シリーズ」、「D'sプラスシリーズ」等のラインナップを充実して参ります。2025年度は、この他にも新機能を盛り込んだ新製品の上市を予定しております。弊社は、今後もお客様のニーズに対応した新製品を開発し、豊かな食生活に貢献して参ります。

昨年は日・米で大きな政治的変化がありました。ウクライナ・中東問題も未だ終結していません。それらの影響を受け今年も先の見えない不透明な展開になると想定しています。当社は「食の安全」を一貫して守り、お取引先の皆様、そして社員と共に歩む企業を目指して参ります。

最後となりますが、昨年同様、皆様の変わらぬご支援ご愛顧を賜ります様、心よりお願い申し上げます。そして皆様のご健勝とご繁栄をお祈りいたしまして2025年の年頭のご挨拶とさせていただきます。